

耳鼻咽喉科・頭頸部外科に受診中の患者さんへ

臨床研究の実施に関するお知らせ

現在耳鼻咽喉科・頭頸部外科では、下記の臨床研究を実施しております。

この研究では、患者さんの日常診療で得られたデータ（情報）を利用させていただきます。

ご自身のデータがこの研究に利用されることについて、異議がある場合は、情報の利用や他の研究機関への提供をいつでも停止することができます。研究の計画や内容などについて詳しくお知りになりたい方、ご自身のデータがこの研究で利用されることについて異議のある方、その他ご質問がある方は、以下の「問い合わせ先」へご連絡ください。

●研究課題名

甲状腺悪性リンパ腫に対する気道確保の検討

●研究の目的

甲状腺は気管前・側方に位置し、増大すると気道狭窄をきたし、最悪の場合窒息することがあります。甲状腺が増大する病気には、出血、感染、腫瘍などがあります。腫瘍のなかで、甲状腺癌の場合は、化学療法や放射線治療がききにくいことが多く、手術治療が第一となり、気管浸潤があれば気管切除が必要になります。一方で甲状腺悪性リンパ腫は、化学療法や放射線治療の効果が高く、気管切除を行わなくても根治することがよくあります。そこで、甲状腺悪性リンパ腫による気道狭窄の場合は、気管挿管のまま薬物治療を行い、気管切開をせずに、気道狭窄が改善できることもあります。そこで、甲状腺悪性リンパ腫で気道狭窄をきたした症例の気道確保の方法を検討することで、今後のよりよい治療方針の決定に役立てたいと考えています。

●対象となる患者さん

2013年1月1日から2019年6月30日の間、当院耳鼻咽喉科・頭頸部外科で甲状腺生検を施行し、悪性リンパ腫の診断をえた患者さん。

●研究期間：当院の臨床研究倫理委員会承認日から2020年3月31日

●使用させていただく診療データ

・年齢、性別、自覚症状、病理組織、CT画像、気道確保の方法、投薬内容、治療経過など

●個人情報の取り扱いと倫理的事項

研究データは、患者さんを直接特定できる情報（お名前やカルテ番号など）を削除し匿名化しますので、当院のスタッフ以外が当院の患者さんを特定することはできません。

この研究成果は学会や学術雑誌などで発表することがありますが、その場合でも上記のとおり匿名化していますので、患者さんのプライバシーは守られます。

なお、この研究は、国の定めた指針に従い、当院の臨床研究倫理委員会の審査・承認を得て実施しています。

●研究代表機関・研究事務局（情報管理責任者）、問い合わせ先（当院の連絡窓口）

神戸市立医療センター中央市民病院 頭頸部外科

代表者名 竹林 慎治

住所：神戸市中央区港島南町2丁目1-1

電話：078-302-4321